

まちの出来事

ドッチビー体験

「青少年教室」開催

子どもたちに色々な体験を
してもらおうと「料理」「遊び
・スポーツ」「体験交流」の3
部門にわけ「青少年教室」が
開催されています。

10月25日には、「遊び・スポ
ーツ部門」の「ドッチビーで
遊ぼう」が小学5・6年生を
対象に森林公園体育センター
で開催されました。より遠く
までディスクを飛ばす「遠投
ドッチビー」、9枚のパネルを
限られた回数で抜く「ディス
ケット」、ドッチボールと似
たルールのコディスクドッチ
が行われ、参加した子どもた



「みつめよう福祉の心」をテ
ーマとする第33回紋別市住民
福祉大会が10月26日、市民会
館で開催されました。町内会
功績者顕彰などの各種顕彰の
ほか、名寄市立大学保健福祉
学部社会福祉学科の岡部和夫
教授の講演も行われました。
岡部教授は、福祉作りには、
行政や社会福祉協議会、民生
委員児童委員などと協働しな
がら家族や地域の「絆」を取
り戻すことや、安全な環境を
創り出すことが求められてい
ると述べていました。

福祉の心を見つめよう
第33回紋別市住民福祉大会



66年の歴史に思い馳せ
紋別北高校で閉校式

来年3月で閉校する紋別北
高校（生徒数185人）の閉校式
が11月1日、同校体育館で開
かれました。在校生や教職員
卒業生約500人が出席した式典
では、スクリーンを使った映
像を用いて66年間の歴史を振
り返ったほか、歴代校長への
感謝状も贈られました。



式典では、物故者への黙と
う、国歌斉唱の後に柏木校長
が挨拶。柏木校長は、「紋別北
高は、オホーツクの豊かで四
季の美しい変化のなか、これ
までに有能な人材を数多く輩
出してきた」と述べ、戦時中
の昭和18年から66年にわたる
歴史をつぶさに紹介。

また、在校生を代表して生
徒会長の谷口亮君が「紋北」
が閉校しても、それは終わり
ではなく新たな始まりです」と
力強くあいさつしました。
その後、校歌を斉唱した後、
学校祭の合唱コンクール課題



曲の「旅立ち」を生徒全員で
歌い上げていました。

世界トップクラスの研究者が来紋
市の研究施設を視察

第1回国際北極研究シンポ
ジウムがこのほど東京で開催
され、アメリカ大統領が任命
した米国北極圏研究委員会委
員が来日しました。11月9日
には、姉妹都市ニューポート
市、フェアバンクス市からの
研究者など7名が、日本国内
の研究体制などを視察のため、
氷海展望塔オホーツクタワー
やオホーツク流水科学センタ
ーを訪ねました。紋別市国際
交流委員会の歓迎夕食会も行
われ、会員と交流を深めまし
た。

